

# 創造的な復興へ

## 宮城県政策紹介シリーズ①



### 復興の花を咲かせよう!

# 競争力と魅力ある養殖業の創造

県は、養殖水産物の品質向上や後継者不足への対応といった震災以前からの課題に加え、震災による販路の喪失などに  
対応するため、単なる原形復旧にとどまらない、沿岸地域の活力創出に向けた取り組みを進めています。

## 宮城県漁業協同組合経営管理委員会 会長 丹野 一雄さん



当組合の平成29年3月末時点の組合員数は8879人で震災前より1500人以上減り、養殖水産物の生産量も約7割にとどまっています。しかし生産者の努力で生産量は右肩上がりで増

え、カキやノリなどは1人当たり生産量が震災前を上回るほどです。ただ、漁業者の激減は深刻な問題で、何としても増やさないといけません。県が昨年開講し

## 三陸で育つ味、国内外に発信を

た「みやぎ漁師カレッジ」など、国も含めて取り組む担い手育成事業の成果を期待します。宮城の養殖水産物の魅力

は、三陸の海で育つおいしさや安全、安心な生産方法です。「みやぎサーモン」に続く県産力全産品のGI登録のほか、石巻地区、石巻市東部、石巻湾の3支所

が楽しめる商品も注目されています。水産物の消費拡大に向け、土曜日を「県産水産物のキッチンカー」を各地に派遣して

県は、震災からの復興と生産者の安定経営のため、「宮城県養殖復興プラン(再生期・発展期)」(平成27年度から6カ年)を策定し、高品質で安全・安心な養殖水産物の安定供給、協業化などによる経営の効率化、6次産業化や新たな販路の開拓などの支援を取り組んでいます。



水揚げされるカキ



春の訪れとともに始まるギンザケの水揚げ

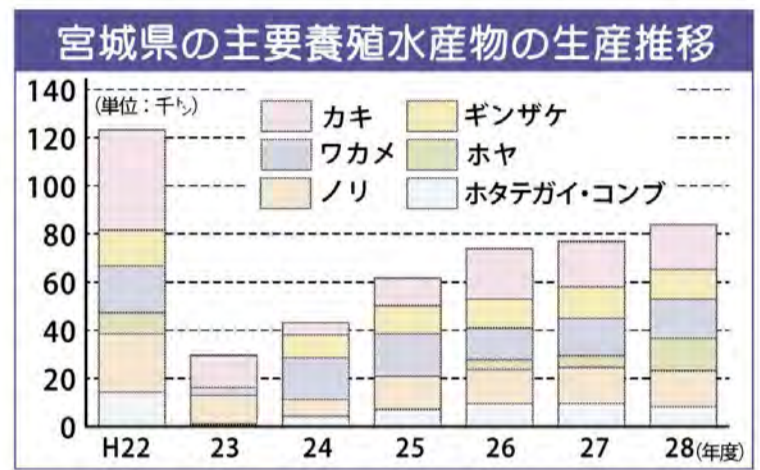
## 「宮城県養殖復興プラン」による取り組み

やぎ漁師カレッジ」を平成29年に開講し、新規就業者の定着を支援しています。

復興の担い手となる生産者をはじめ、流通・加工関係者などと連携して、競争力と魅力ある養殖業の創造を目指しています。

## 本県の養殖業の現状

東日本大震災から約7年を経て養殖施設や漁船などは復旧し、魚市場や加工場などが整備され、浜には活気が戻ってきました。本県では、カキ、ホタテガイ、ギンザケ、ノリ、ワカメ、ホヤ、コンブと多種多様な水産物を養殖しています。漁師地域の基幹産業である養殖業の復興は、地域の再生・発展に不可欠です。震災により落ち込んだ生産量は、一部の養殖種においては震災前の順位にまで戻り、ギンザケやホヤが全国第1位、カキやワカメが第2位など、再び県内外の皆さんに良質な養殖水産物の供給ができるようになりまし



宮城県の主要養殖水産物の生産推移

## 養殖業をけん引する主力の養殖水産物

### カキ



本県のカキは、清浄な沿岸域で養殖され、生で食べられる品質と鮮度を誇ります。皆さんにより安心して食べていただくため、県は宮城県漁業協同組合と共に毎週1回、カキ養殖漁場ごとに安全なカキの提供に向けた検査を実施しています。

カキは震災で最も生産者が減少し、震災前の生産量に回復することは厳しい状況です。しかし、カキの実入りがよくなる4～5月まで生食用むき身の出荷期間を延長したり、高品質な殻付きカキの生産に必要な技術指導をしたりするなど、生産量増加と付加価値向上に努めています。

また、震災後に、全国で初となるASC認証(※)を南三陸町の県漁協志津川支所戸倉出張所が取得しており、この取り組みが広がるように支援していきます。ASC認証:WWF(世界自然保護基金)などが支援するASC(水産養殖管理協議会)が行う認証制度。認証を取得した養殖場はASCマークにより水産物が環境および社会的に健全であるとアピールできる。

### ギンザケ



生産量日本一を誇るギンザケは、春から夏にかけて出荷の最盛期です。ギンザケの中でも活け締め処理を施した高品質なギンザケが「みやぎサーモン」です。「みやぎサーモン」は、脂の乗り、甘味そしてうまみの豊かな身質から、刺し身用の最高級ブランドとしてスーパーや飲食店などで高い評価を受けています。昨年、「みやぎサーモン」は本県の農林水産物などでは初めてGI(※)に登録され、国内外に推奨するブランド水産物として、全国的に注目を浴びています。今後は、より多くの皆さんに食べていただけるよう、生産団体、流通関係者などと連携して「みやぎサーモン」の生産数量を増やしていきます。

※GI(地理的表示):その名称から産地が特定できる農林水産物などの名称であり、品質などの特性が産地と結びついているもの。登録すると知的財産として保護される。

企画/宮城県広報課 ◎お問い合わせ/宮城県水産業基盤整備課 022(211)2943

# 県からのお知らせ

### 女性医師による女性の健康相談

県内の各地域で、女性の健康増進や妊娠、思春期や更年期に伴う不調、家庭や職場でのストレスなどの悩み、女性医師が応じる面談相談を行っています(無料・完全予約制)。日程・会場など詳しくはホームページをご覧ください(仙台市にお住まいの方、通称・通学している方は仙台市会場(エルソラ仙台)でも相談を受けられます)。  
【1月の相談日】  
●日程・場所/1月13日(土)・塩釜市市民交流センター  
●予約先/090(5840)1993(平日・午前9時～午後5時)予約は上記携帯電話のみで受け付けます。  
◎県健康推進課 ☎022(211)2623  
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kensui/8-33.html

### 宮城県男女共同参画審議会委員の公募

男女共同参画の推進について調査や審議を行う審議会の委員を公募しています。  
●対象/県内に居住する満20歳以上の方(県の職員、県他審議会などの委員、これまでに本審議会の委員に就任したことがある方は不可)  
●応募方法/1月19日(金)までに、所定の応募用紙に必要事項を記入の上、作文「男女共同参画の推進に関する考えについて」(1200字以内)を添えて下記へ  
●応募用紙/下記で配布、またはホームページからダウンロード  
☎9980-8570(住所記載不要)  
県共同参画社会推進課 ☎022(211)2568  
http://www.pref.miyagi.jp/site/kyousha/jyorei-shingikai001.html

### 環境産業コーディネーターを募集します

●業務内容/県内企業などの廃棄物の3R推進、省エネルギー・再生可能エネルギーの導入促進支援  
●対象/採用予定人員/民間企業などで通算5年以上、廃棄物管理やエネルギー管理の実務経験がある方・若年者  
●勤務先/県庁(企業訪問などの外勤あり)  
●勤務日/週4日(平日)午前8時30分～午後4時45分  
●選考方法/書類、レポート、面接  
●募集期限/1月26日(金)(必着)まで  
●任期/4月1日～平成31年3月31日(勤務成績などにより最長2年間、任期の延長があります)  
☎9980-8570(住所記載不要)  
環境政策課 ☎022(211)2664  
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyos

### 宮城米キャンペーンキャラクター募集

●応募資格/人数/県内在住の満18歳以上(平成30年4月1日現在・男女問わず)で、4月1日～平成31年3月31日までの1年間、全国各地でのPR活動に参加できる方(平日・休日を問わず、70日程度)・3人程度  
●申し込み/1月16日(火)までに、申込用紙に履歴書と写真(上半身・全身)を添付して、郵送(必着)または持参により下記へ  
●申込用紙/県の各地方振興事務所配布またはホームページからダウンロード  
●入賞者副賞/宮城米・賞金など  
☎9980-8570(住所記載不要)宮城米マーケティング推進機構(県食産業振興課内) ☎022(211)2815  
http://www.foodkingdom-miyagi.jp/miyagimai

### みやぎ介護人材を育成 取組宣言認証制度

介護職員の育成や、働きやすい環境づくりに取り組む介護事業者が宣言を行い、県と関係団体による「宮城県介護人材確保協議会」が認証する制度を実施しています。  
宣言・認証事業者はホームページで公表しています。介護業界で働きたい方の事業所選びなどの参考に活用ください。  
◎みやぎ介護人材を育成取組宣言認証制度事務局 ☎022(343)8538  
◎県長寿社会政策課 ☎022(211)2536  
https://www.miyagi-kaigojinzai.jp/

### 測量士・測量士補国家試験

●試験日/5月20日(日)  
●出願/1月29日(月)までに郵送(消印有効、後納郵便または別納郵便の場合は必着)または持参により国土地理院総務部総務課へ  
●願書/下記および県の各土木事務所配布 ☎305-0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院総務部総務課 ☎029(864)8214  
◎県用地理 ☎022(211)3122  
http://www.gsi.go.jp/LAW/30shiken.html

### 山仕事ガイド

森林・林業の基礎講座、チェーンソー操作体験、就業相談など、自然の中で働く「林業」の就業体験を実施します。  
●対象/定員/林業への就職に関心のある方・30人(先着順)  
●日時/場所/2月9日(金)午前10時から・青

### 仙台空港国際線利用促進キャンペーン

より多くの方に仙台空港をご利用いただくため、キャンペーンを実施しています。  
●対象/満2歳以上30歳未満で、新規にパスポートを取得し、平成29年12月～平成30年2月に仙台空港発の国際線搭乗券を購入した方  
●助成額/最大1万円(パスポート取得費用※ホームページをご覧ください)  
◎仙台空港国際線 ☎022(211)3228  
http://www.jata-net.or.jp/shiba/tohoku/sendai\_airport-c/

### 伊達な学校給食フェア

県は、宮城県の豊富な食材や栄養バランスのとれた食事について学習できる献立を表彰する「伊達な献立コンクール」を行いました。下記の期間、県庁2階カフェテリアや子育て入賞した献立を日替わりで1日60食限定、1食600円で提供します。また、県庁2階回廊にコンクール入賞団体のパネルと食育推進啓発ポスター入賞作品を展示します。  
●期間/1月24日(水)～2月2日(金)(展示は1月26日(金)から)  
◎県スポーツ健康課 ☎022(211)3666

### 県立学校の入学金などの免除期間延長

東日本大震災により被災された方の県立学校の入学金、寄宿舎料および入学者選抜手数料の免除期間を延長します。  
●対象/東日本大震災により住居が半壊以上の被害を受けた方など  
●必要書類/被災証明書などを添付した免除申請書(詳しくは各県立学校にお問い合わせください)と、ホームページをご覧ください。  
◎県高校教育課 ☎022(211)3711  
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koukyou/

### 架空請求詐欺にご注意ください

県内では、幅広い年齢層をターゲットにした架空請求詐欺が増加しています。被害の多い手口は、メールで「有料動画閲覧料金未納」と送られてきたり、サイト閲覧中に「登録完了」などと表示されたりするものです。慌てて表示された番号に電話をすると「料金を支払わないと裁判になる」と脅され、犯人から「電子マネー(プリペイドカード)を購入し、カード番号を教えるように」と指示されることが多いので、この場合は詐欺を疑ってください。一人でも悩まず必ず家族や警察に相談を!  
◎県警察本部生活安全企画課 ☎022(221)7171(代表)

※日程や申し込み方法など、各お知らせの詳しい内容は画面上お問い合わせください。アドレスを掲載しているお知らせは、ホームページにも詳しい情報が載っています。東日本大震災に関する各種制度および相談窓口などの情報は、データ放送(NHK総合、ミヤギテレビ)でも配信しています。

## 宮城がうまい!

食文化王国みやぎ Vol.4～日本酒～

「杜氏の技術が生み出す蔵元の味わい」

米どころ宮城は酒どころでもあります。県内には数多くの蔵元があり、それぞれに個性のある味わい深い日本酒を醸造しています。酒造りに欠かせないのが酵母。県内の各蔵元では、県が開発した酵母が使用されています。酵母はアルコールを作ると同時に酸味や香りのもととなり、こうじは甘さやうま味を生み出します。蔵元ごとに独自の味わいを作り出せるのは、酵母やこうじの使い、発酵期間などを調整しているため。条件を微妙に変えて蔵元自慢のお酒に仕上げるのが杜氏の技術です。

吟醸酒などフルーティな香りのするお酒を試していただきたいのがロック。香りがおろしおろしと際立ります。キリッと辛口のお酒はソーダ割りがお薦め。冷やしたお酒をソーダ割ると搾りたてのような味わい楽しめます。悪酔いを防ぐためにも、飲み過ぎと空腹にはご注意ください。空腹の時にお酒を飲むと血中のアルコール濃度が急速に上昇します。まず、何かを食べてからお酒を楽しみましょう。実は、この「食べながら飲む」こそ日本酒の醍醐味。蔵元に近い地域の食材と相性抜群です。海に近い蔵元では魚介類に合うお酒が多く、内陸の蔵元のお酒は、野菜の煮浸しや肉類と相性が良いです。宮城の食材と地酒のマリアージュは最高です。日本酒ファンはもちろん、本年に成人を迎え、初めてお酒を飲むという方も、宮城の地酒をじっくりと味わってみてください。

宮城県産業技術総合センター 食品バイオ技術部 橋本 建哉 総括研究員  
◎県食産業振興課 ☎022(211)2813  
食文化王国みやぎホームページ http://www.foodkingdom-miyagi.jp/

企画/県広報課